

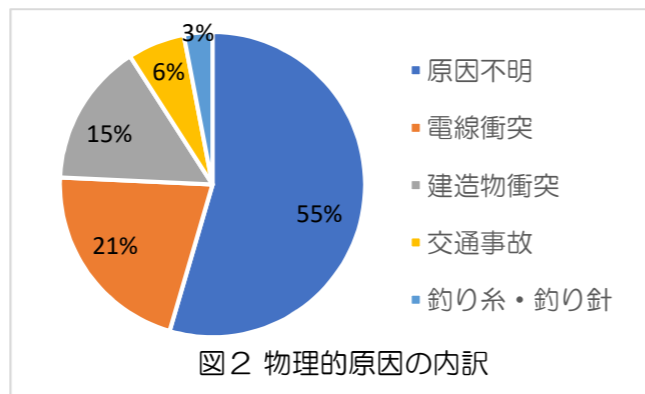
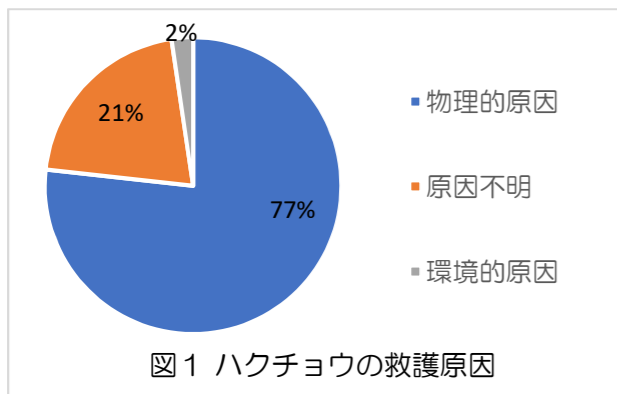
# 救護棟カルテ No. 19



毎年11月になるとシベリアやアラスカなどから冬の使者ハクチョウが渡ってきます。今回はハクチョウの救護原因と治療法についてのお話です。

## ハクチョウの救護実績

過去5年間のオオハクチョウ・コハクチョウの救護原因を図1、2に示します。救護原因が建造物衝突や電線衝突など物理的外力が加わったものが約80%とほかの鳥類に比べて多く、骨折や脊髄損傷などの重症が多いのが特徴です。野生復帰率は全体平均よりも少し低く約30%でした。



## 新たな治療法の検討

ハクチョウは体が大きく力がとても強いです。先日搬入されたオオハクチョウは11kgを超えていました。その体格に似合わずとても神経質なため、治療の際は安全を確保しつつ、短時間で行う必要があります。

過去5年間、脚の骨折で野生復帰したハクチョウはいません。特に大腿骨はふわふわの羽毛に埋まっているため、骨折部の固定に苦労しています。野生下では水面を泳いでいることが多いのですが、入院中はほとんど座っていることとなります。体重のあるハクチョウにとって、長時間の座った姿勢は足に負担がかかり、循環障害や筋肉の萎縮を起こしやすくなります。それらを防ぐために、ハクチョウを吊って起立姿勢とすることによって足の負担軽減と血行促進、怪我をしていない足の筋力低下防止を図っています。(図4)。

ここで使用している道具はすべて野生動物管理員の手作りです。なんとか野生復帰させてあげたい。その思いで治療法を模索し続けています。

## お願い

衰弱している動物を見つけても泳いだり歩いて逃げることが出来れば様子を見ていただくようお願いをしています。無理に捕獲することで人も動物もケガをする恐れがあるためです。

公式 Twitter (@Fukushima\_WSC) で、ハクチョウの動画も掲載しています。是非ご覧下さい。

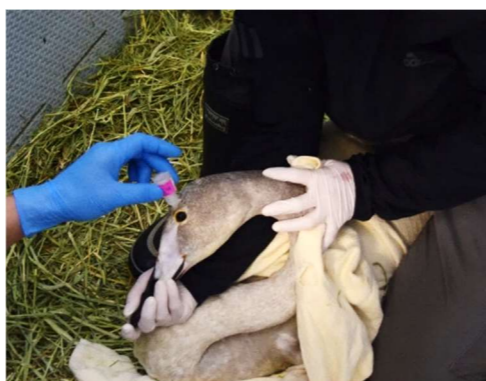


図3 目薬で治療するコハクチョウ



図4 オオハクチョウ(成鳥)

# あだたら 森の回覧板



Vol. 19 冬号

ジョウビタキ



## 【今年もよろしくお祈いします!】

野生生物共生センターには、昨年も多くの方にご来館していただき、7月には累計来館2万人目の方をお迎えすることができました。今後も様々なイベントの実施やホームページ、SNSを活用した情報発信等を行ってまいります。今年もどうぞよろしくお祈いいたします。

# 卯年

今年もよろしくお祈いします



トウホクノウサギ

頭胴長43~54cm  
尾長2~5cm

夜行性で巣を作らず穴も掘らず単独で行動するんだって!

足跡



あだぼん

野生生物共生センターでは、野生動物の剥製やパネルの展示、映像放映等を行っており、入館料無料で自由に見学・閲覧できます。事前にご相談いただければ、団体でのご利用や職員による解説などの対応も可能ですので、興味をお持ちの方はお問い合わせください。

詳しくは... [HP](#) [環境創造センター](#) [検索](#)

発行: 福島県野生生物共生センター  
〒969-1302  
福島県安達郡大玉村玉井字長久保 67  
電話 0243-24-6631  
開館時間 9:00~17:00  
休館日 毎週月曜日  
(祝日の場合はその翌日)



# ノウサギってどんな生き物？

今年の干支は大きな耳が特徴的なウサギです。今回は、ノウサギの特徴や生息地、森の中で見られるフィールドサイン\*1についてご紹介します。

## 【特徴】

福島県で見られるノウサギは「トウホクノウサギ」といい「ニホンノウサギ」の亜種\*2です。夏毛は茶褐色、冬毛は耳の先端に黒色を残して白くなります。長い耳は敏感で、動物の気配を察知すると、身を守るために素早く逃げることができるといわれています。音を集めるアンテナみたいな役割ですね。ちなみに、動物学的な分類はウサギ目ウサギ科ノウサギ属に分類されます。

## 【生息地】

トウホクノウサギは福島県の広い範囲に生息しています。冬は野生動物が残した足跡を見つけやすい季節です。動物の足跡やフンを見つけた時は周辺に動物が生息している証拠です。彼らの生活を想像し、フィールドワークを楽しんでみてください。

※1 フィールドサイン…野生動物が残した足跡やフン、食痕などの「生活痕」のこと。

※2 亜種…同じ種でも分布する地域により色や形に違いが見られる種類のこと。



図1 ウサギのフン



図2 ウサギの足跡

# 冬の企画「ハクチョウがきた！！」

冬季期間中、企画展「ハクチョウがきた！！」を実施しています。ハクチョウは渡り鳥に分類され、毎年冬の時期にユーラシア大陸から日本へ餌を求めてやってきます。展示室では、「日本人とハクチョウの関わり合い」や「ハクチョウの種類」、「鳥インフルエンザ」に関する展示を行っています。ハクチョウは冬の代名詞ともいえる動物です。俳人・中村草田男は「白鳥といふ一巨花を水に置く」と、水面に漂う白鳥の姿を大きな白い花に喩えた俳句を残しています。ハクチョウが人間の生活に深く溶け込んでいることが分かりますね。

今回は、ハクチョウにまつわる“クイズ”を掲載します。日本で見られるハクチョウの多くは、オオハクチョウとコハクチョウです。また、希にコブハクチョウという外来種\*3も見られます。ハクチョウごとに特徴的な部分がありますので、よく見て解答してください！

※3 人間の活動によって他の地域から、本来生息していなかった場所へ入ってきた生き物のこと。コブハクチョウの場合、公園などの池で放し飼いされていたものが野生化したといわれています。

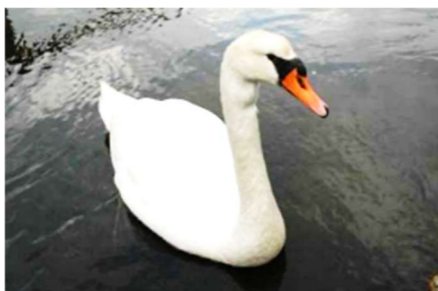
## クイズ

A、B、Cの動物はそれぞれ何という動物かな？  
ヒント：オオハクチョウ、コハクチョウ、コブハクチョウ

A



B



C

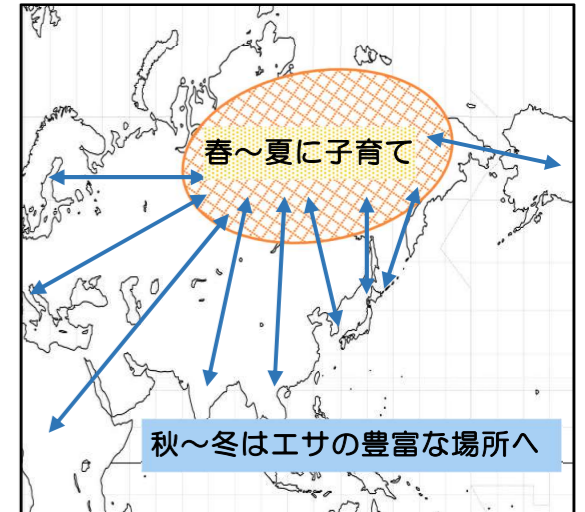


# 鳥インフルエンザウイルスはどこからやってくるの？

今シーズンは、高病原性鳥インフルエンザの発生確認が相次いでいます。令和5年1月末時点で野鳥 25 道県 175 事例、家きん（飼育されているニワトリ）25 道県 66 事例が確認されています。すでに昨シーズンを大きく上回り、家きんの処分数は 1,100 万羽を超える過去最悪のペースとなっています。福島県でも家きんの感染確認が 11 月と 12 月にありましたが、迅速な対応により続発はありませんでした。

AIV（鳥インフルエンザウイルス）はヒト新型コロナウイルスと同様、過密な状態で伝染しやすくなります。通常、感染 2～3 週間後には体内から消滅するので、いつまでも感染が続くわけではありません。AIVはどこからやってくるのでしょうか？

日本に AIV を運ぶのは冬鳥（冬の渡り鳥）といわれています。全鳥類約 9,000 種の 5 分の 1 は渡り鳥といわれ、日本だけでなく世界各地を飛んでいます。図にあるように、冬鳥は春から夏にかけて、涼しい土地で繁殖・子育てをしています。秋から冬にかけてエサを求め比較的暖かい土地に移動して過ごし、春になると、繁殖・子育て地に戻ります。冬鳥であるカモ類は、AIV に感染してもほとんど症状が無いままウイルスを排出する「自然宿主」と考えられています。カモ類が移動によって AIV を世界各地に運び、同じ場所で過ごしている野鳥が AIV に伝染し、感染した野鳥から、その死体を食べた猛禽類やカラス、哺乳類に感染が広がっていきます。



図：冬の渡り鳥のルートイメージ

## 高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）は病気の名前

家きん農場に AIV が入り込むと、ニワトリは過密状態で飼育されているために次々と感染が広がります。AIV は爆発的に増加し、様々なタイプに変異する可能性が高まります。ニワトリが強い症状を起こすタイプに感染すると高病原性鳥インフルエンザと呼ばれ、即座にウイルスの封じ込めが行われます。まん延防止が目的ですが、ヒト-ヒト間で感染するタイプへの変異を防ぐためでもあります。ワクチンは重症化を防ぎますが、感染や AIV の排出、変異は止められません。そのため、発見が遅れて HPAI のまん延を許す恐れがあるので、基本的にワクチンは使用しません。

## 今、私たちにできることは何でしょうか

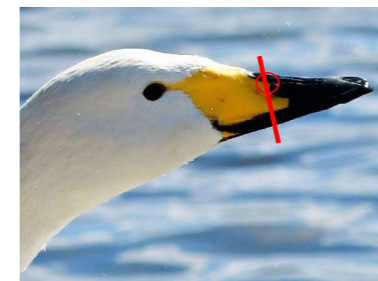
日本だけでなく世界各地で HPAI が多発していて、ウイルスの濃度が高まっています。私たちは何に気を付け、何をしたら良いのでしょうか。一番は野生動物にむやみに近づかないなど、野生動物との距離を適切に保つことです。それによってヒトを、家畜を、ペットを、そして野生動物を守ることができるのです。

## お願い

- 同じ場所でたくさんの野鳥などが死んでいた場合、県や市町村にご連絡ください。
- 野鳥のフンが靴の裏や車のタイヤにつくことにより、鳥インフルエンザウイルスが他の地域に運ばれるおそれがあるので、野鳥がいる場所に近づきすぎないようにしてください。
- 野生動物に触ったときは石けんを使って手を洗い、うがいをすれば、過度に心配する必要はありません。

## 【クイズの答え】

- A オオハクチョウ
- B コブハクチョウ
- C コハクチョウ



写真はオオハクチョウ

## 【解説】

- A：オオハクチョウと C：コハクチョウの見分け方は、<sup>くちばし</sup>の黄色い部分がオオハクチョウは鼻孔（赤丸）を超えます。一方、コハクチョウは超えません。
- B コブハクチョウは眉間にコブの様なものがあるため、見分けやすいですね。